

病院はなぜ赤字なのか？

～病院事務長が教える医療とこどもの支援に共通する組織運営のリアル～

2026
7月25日 土

時間 13:30～16:00

場所 姫路市総合福祉会館 第1会議室



医療も福祉も、現場を支えるのは“人”と“仕組み”です。しかし、限られた人員・時間・予算の中で、支援者が疲弊し、組織が立ち行かなくなるケースは少なくありません。本講演では、病院事務長として数々の経営改善に携わってきた加藤隆之氏が、医療と児童福祉に共通する「現場を守る組織運営のリアル」を語っていただきます。支援者が働きやすく、子どもたちをより良く支えられる体制づくりのヒントが詰まった90分。明日からの現場が少し軽くなる視点を、一緒に学びませんか。

スタート

管理

リソース



戦略

協力

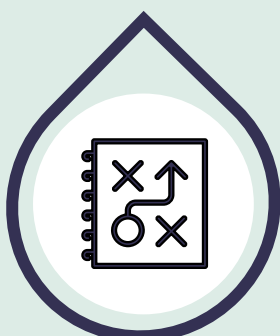


講師 事務長さぼーと株式会社
代表取締役 **加藤 隆之** 氏
中小企業診断士、経営学修士、工学修士
医療機関の経営支援に長年携わり、急性期病院の改革や組織づくりを現場で推進。専門病院の立ち上げでは事務長として運営体制の構築や組織マネジメントを担う。その後、M&A領域を経て独立。現在は病院や企業の組織づくり・人材育成をテーマに、講演・研修・執筆活動を行っている。著書に「事例で学ぶ病院経営シリーズ」がある。



パネリスト はりまこどものこころ診療所
院長 **三木 崇弘** 氏

児童精神科医。国立成育医療研究センターこころの診療部で6年間勤務の後、2023年4月より地元・姫路へ戻り、「はりまこどものこころ診療所」を開院。漫画『リエゾン—こどものこころ診療所—』やドラマなど多数の作品を監修。はりま子どもの未来を考える会会長。



What's
はりまこどもの未来を考える会

児童福祉・医療・教育など多領域の支援者が参加し、研修会や意見交換を通じて、実践的な知識の共有とネットワークづくりを進めています。支援者同士が学び合い、つながり、現場をより良くするための実践を共有する場です。

ゴール



交通機関
JR山陽新幹線・山陽本線「姫路駅」下車、南出口から南へ徒歩で約20分
路線バスをご利用の場合は、姫路駅（南口）「南21のりば」より約5分「姫路市役所前バス停」下車。
※駐車場は台数にかぎりがありますので、可能な限り公共交通機関のご利用をお願いします。

主催：はりま子どもの未来を考える会
後援：姫路市

参加費 1,000円
(当日受付でお願いします)

定員 120名(先着)

申込用二次元コード→

